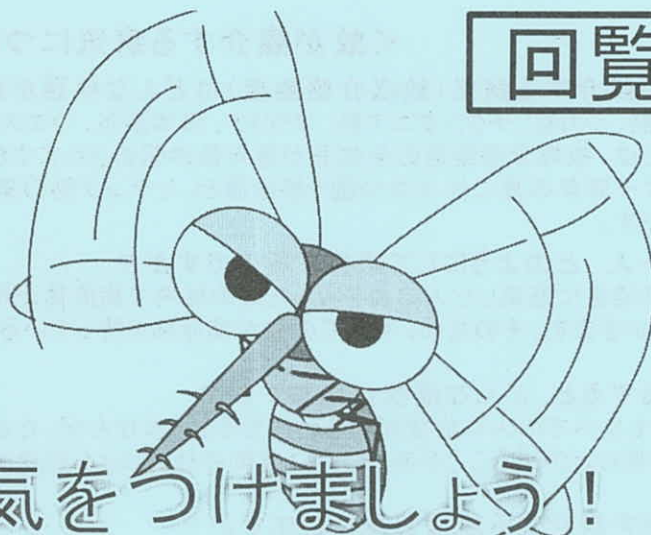


蚊



に気を付けましょう!

～蚊は、病気を運ぶことがあります～

☑蚊をふやさない

「かゆい」
だけじゃ
ないよ!

<幼虫（ボウフラ）対策>

◎住まいの周囲にある『たまり水』を、週に一度は捨てましょう。

成虫の雌は、卵を産むために吸血します。

空き缶や溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。

卵から成虫になるまで1～2週間、水中で生活します。

<成虫対策>

◎雑草の草刈りなどを行い、蚊が潜む場所を減らしましょう。

☑蚊に刺されない



◎長そで・長ズボンを着用し、肌を露出させないようにしましょう。

◎虫除け剤は用法・用量を確認して使いましょう。

◎蚊のいる場所（雑草の茂った場所など）は避けましょう。

◎網戸を設置したり、ドアの開閉を少なくして、
蚊を家に入れないようにしましょう。

■□海外に渡航される方へ□■

蚊が媒介する感染症は、世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しています。渡航前に現地の情報収集を行い、蚊の対策を行ってください。

➤厚生労働省検疫所ホームページ「FORTH」

<http://www.forth.go.jp/index.html>



〔写真〕吸血中のヒトスジシマカ雌成虫
（出典：国立感染症研究所iASRホームページ）

【事務担当】

藤沢市保健所 保健予防課

電話：0466(50)3593(直通)

FAX：0466(28)2121

＜蚊が媒介する病気について Q&A＞

Q 蚊が媒介する病気(蚊媒介感染症)はどんな種類があるのですか？

デング熱、ジカ熱、チクングニア熱、マラリア、日本脳炎、ウエストナイル熱などがあります。

藤沢市では、蚊媒介感染症の発生届が毎年数件報告されますが、そのほとんどが海外での感染です。ただし、日本では一昨年の夏に代々木公園を感染源としたデング熱の集団感染がありましたので、注意を続けていくことが必要です。

Q 蚊→人 どのようにして感染するのですか？

蚊媒介感染症に感染した人の血を吸った蚊の体内で病原体が増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を拡げていきます。そのため、すべての蚊が病原体を持っているわけではありません。

Q 感染すると、どんな症状が出ますか？

感染してもすべての人に症状が出るわけではありませんが、たとえばデング熱・チクングニア熱は発熱や関節の痛み、発疹などが出る場合があります。(病気の種類により症状は異なります)

Q 感染を媒介する蚊は日本にいますか？

日本には、ヤブカ属のヒトスジシマカ、イエカ属のアカイエカ・チカイエカなどが生息しています。

それぞれの蚊で媒介する感染症は異なりますが、日本に多いヒトスジシマカは、デング熱・ジカ熱・チクングニア熱を媒介することが知られています。

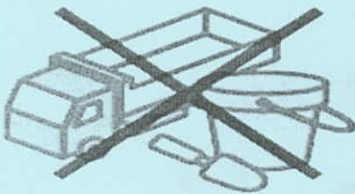
▶▶ 妊婦さんおよび妊娠の可能性のある方へ

「ジカ熱」は、昨年からブラジルを中心に流行が拡大しています。ジカ熱は、デング熱より症状は軽症とされていますが、妊娠中のジカウイルス感染と胎児の小頭症の関連が示唆されていることから、妊婦及び妊娠の可能性のある方は、可能な限り流行地への渡航を控えてください。

流行地は、厚生労働省ホームページ(「厚生労働省 ジカウイルス感染症」で検索)で確認できます。

ヒトスジシマカの発生源を叩け！

週に一度、住まいの周囲にある「たまり水」を捨てると、蚊の発生予防になります。



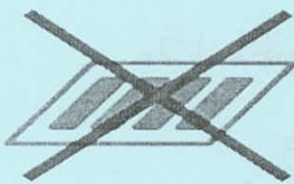
屋外に放置された
子供のおもちゃ



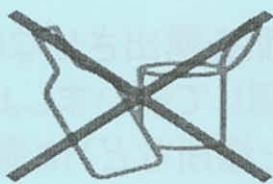
植木鉢の水



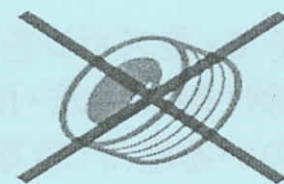
雨ざらしのじょうろ



排水溝



屋外に放置された
空きビン・缶、ペットボトル



古タイヤに
溜まった水たまり

イラスト:厚生労働省ホームページより抜粋

チラシについての問い合わせは、藤沢市保健所 保健予防課まで 0466(50)3593(直通)

その他、市では、市民の皆さんのお問い合わせなどに答える年中無休の電話窓口を開設しています

■健康相談、医療相談、医療機関情報など

「ふじさわ安心ダイヤル24」 ☎0120-26-0070(フリーダイヤル) 【24時間】年中無休

■「市に問い合わせたいことがあるけれど窓口が分からない」、「市での申請や手続きの方法をしりたい」 など

「藤沢市コールセンター」 ☎ 0466(28)1000 【午前8時～午後9時】年中無休

※個人情報参照しなければ回答できない場合や専門的な問い合わせの場合は担当課に取り次ぎます。